

**質問事項1**

「オンリーワン都市・村山」の構想（文化、教育、観光事業）

①文化遺産100選、風景遺産100選などを編集する事業を子供からお年寄りまで巻き込んだ形で行えないか。

⇒選ぶところから市民が参画し、選んだポイントそれぞれに時代劇に出てくるような瓦版（立て札）を立てる。

⇒その瓦版づくりも地域の発案、デザインに委ねる。

⇒そのポイント全てが市民、地域で新たに作り出す観光スポットになり、我々が歩く遊歩ルートになるだけでなく、観光客や海外からの旅行客の歩くルートに様々企画できる。

⇒他にも教育の教材にもなり、子供だけでなく、市内外から赴任してきた教師側の教材にもなる。

⇒その他の効果も色々・・・

<市長に対して検討を要請したのみ。よって答弁なし。>

②居合、徳内、大わらじ、山岳信仰や3難所が集う最上川がある本市は、まさに信仰文化と自然に愛された都市といってもよい。それらを点で終わらせず、線に結びつけるような展開を大胆にとるべき。

⇒とりわけ、海外の方が持つ日本のイメージに「侍」や「刀」があげられるが、それらを抽出できる、日本にたったひとつしかない居合神社が本市にはあり、観光に重きを置いた面白い事業が展開できると考える。

⇒信仰文化を中心に、観光地経営的な視点で行っている自治体は現実にある。

⇒居合神社周辺を居合の里としての観光スポットに。

⇒既存の宿泊施設だけではなく、空き家や大倉小学校などを利用し、戦国時代の頃と同じような雰囲気のものを作り、食事も地元の方に協力を得て、村山らしい食材で田舎の味やお袋の味を体験してもらうなど・・・

<市長答弁>

・発想は面白い。

・だが、政教分離などの点を踏まえた従来通りの消極的な答弁に終始した。

<再質疑・提言>

・国際的かつ大胆な発想が活かせる分野であることを強調し、民間力を巻き込んだ（または、後押しする）雰囲気づくりを要請した。

### 質問事項 2

#### 除雪委託関係の修正の必要性

今冬期間は、例年と比較しても非常に雪が少なかった。来年以降も除雪オペレーターを持続的に確保し、地域間の格差を是正するためにも、業者への準備金支給も含めた抜本的な委託関係の修正が必要と考える。また、時間の効率性も考慮して、オペレーターの自宅周辺をそれぞれ対応できるような人員配置を市主導で再編成すべきではないか。他にも、業者にしわ寄せが行きすぎてしまっている現状を見直し、市民・業者・行政の三者間における除雪に対する認識の共有を再確認する必要がある。

<市長答弁>

- ・急に变えるのは難しい。
- ・出来るだけ組合のことは組合に任せたい。

<再質疑・提言>

・組合も除雪だけを扱っているわけではなく様々な利害関係も他にあるため、要望としても強く出せない実情があるのではないか。その辺も市側からくみ取って、歩み寄るような建設的な議論を重ねて欲しい。また、私も所管の常任委員会の一員として尽力したい。

### 質問事項 3

#### 通年観光の視点の必要性及び楯岡開発

徳内シーボルトラインが出来たわけだが、今年からどのような利活用を考えているのか。また、楯岡高校跡地利用の問題が最重要事業のひとつとされているが施政方針でも具体的に触れられていない。実際、どういった方針にあるのか。

<市長答弁>

- ・徳内シーボルトライン周辺には、公園を造る予定で図面を引いているが、優先度は低いため徐々にやる方針だ。
- ・楯岡高校跡地に関しては、県の教育委員会から在校生がいる間は目立った話をあげないでほしいとの要請がきている。だが、急がなければならない喫緊の課題である。

<再質疑・提言>

・村山 I C 周辺にバラ回廊を設置するとの案が示されたが、有料のバラ公園がある以上、その均衡からいっても好ましいものではないと考える。東沢バラ公園をより通年で楽しめるような事業を展開するのが先決である。村山 I C 周辺を楽しんでもらうではなく、そこから村山市内に入ってきてもらうことが重要で、その受け皿となる「今」あるものをより深みのあるものにすることが大事。